

■1階の展示風景



嶋田日出夫展 — ビオハウスへのオマージュ

会 期：2014年3月2日（日）～3月23日（日）

会 場：N3 ART Lab（山口市駅通り 1-7-7）

■ドローイング（1階）

制 作 年：1979年～1989年

素 材：鉛筆、墨汁、水彩絵具、油彩絵具、アクリル絵具、紙、麻布

■ドローイング（2階）

制 作 年：1982年～1983年

素 材：鉛筆、油彩絵具、アクリル絵具、紙

■立 体（2階）

タイトル：ビオハウスへのオマージュ

制 作 年：2014年

素 材：ナンキンハゼの枝、石灰

【作品解説】

ドローイングの殆んどはドイツ時代（1979年～1984年）のものですが、山口に帰郷してからも時折り制作していました。1階のドローイングは左端を起点に古い作品から順を追って展示しています。2階のドローイングはすべてドイツ時代のものです。立体作品は、自宅の庭に育っているナンキンハゼの枝を円形の中心部分から外側へ向けて自立させながら設置し、その上から石灰の粉を振り撒いたものです。展覧会のタイトル「ビオハウスへのオマージュ」は、この立体作品のタイトルでもあります。ビオハウスとは、合板や接着剤、塩ビの壁紙など有害な建材を徹底して排除し、自然素材を中心に施工する健康と環境に配慮した住宅のことです。このビオハウスの思想をオマージュとして作品化しました。

■ 2階の展示風景



■ 立体作品の制作過程

